

製品取扱説明書

【用途】 コンクリート・モルタル、天然・人工石、ブロック、レンガ、タイル
目地の劣化防止・白華防止、レタンス処理、防湿、防汚に用いる。

1. 一般名 無機質浸透・反応性、劣化・吸水防止剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴 HT-SP中の珪酸ナトリウムは基材に浸透後、加水分解により強アルカリ性を示し、乾燥した成分は油、グリースから保護される他十分乾燥後は上塗り剤水性塗料、油性塗料、アスファルト等の密着強化が期待されます。特に金属酸化物（珪酸リチウム）の添加により耐水性、耐候性も改善されました。
コンクリート、モルタル面に塗布すると毛細管空隙等に深く浸透し内部の遊離アルカリと化学的に反応。また骨材中を移動する水分に溶け出した、カルシウム塩などに化学的に反応してエフロレッセンスの予防、抑止をする。そしてその反応性生成物は、疎水性物質に変化し、新しい化合物となる。コンクリートの打ち継ぎに塗布することで、レタンス処理ができ密着性を高める。従って中性化したコンクリートにアルカリ性を付与。生成された疎水性結晶が、表層部分を緻密化し、更に強化する作用がある。又、塗布面には有機系無機系何れでも塗装することが出来る。



HYDROPROOF® HT-SP



4. 一般性状	
項目	内容
主成分	アルカリ金属塩＋珪酸化合物 ＋高反応性無機触媒
容姿	1液性
荷姿	20kg入り・2kg入り
色相	無色透明又は半透明液体
光沢	なし
密度	1.01～1.10g/ml (20℃)
粘度	3mPa・s 以下
溶媒	水
P H	11.0～12.0 (強アルカリ性)
表面張力	25～35dyn/cm (20℃)

5. 塗装基準	
項目	内容
洗浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。
養生	施工面以外、飛散の恐れのある所は、基本的に養生をする。 特にガラス、アルミ、植栽等に付着しない様、出来る範囲で行う。
塗布	一般的な塗布量は 0.12～0.25kg/m ² だが防水目的の場合はこの限りではない。ローラー、ハケ、噴霧器で平均 0.20kg/m ² は塗布。施工面にグリースや油、塗料の一部などが固着していても機能上問題がなければ塗布可能。
乾燥	乾燥養生が長い程、強度が増す。

6. 施工上の注意

1. 珪酸塩系ですので施工前に下地を湿らせます。
2. ハイドロプルーフが付着した部分はすぐに濡れたウエス等で拭き取って下さい。
3. 熱源や直射日光で施工面が50℃以上の場合、たっぷり水をかけて冷やすか日陰部分から塗布して下さい。
4. 冬、施工時が常温であっても夜間に0℃若しくはマイナスになる場合は強制乾燥を行って下さい。
5. 塗布面のオイル・グリース・離型剤等を取り除く事ができ無い場合はその周辺より浸透させてください。
6. 塗布方法は特に選びません。躯体に充分含浸させることが重要です。
7. 開封後は速やかに使い切ってください。開封後の残剤は容器中の空気と化学反応を起こすので使い切ってください。短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にし、小さい容器に移し替え内部の空気を少なくしフタを密封、子供の手の届かない所に保管して下さい。また特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
8. 塗布後の余剰分や残留分は、必ずよく洗った布で拭き取ってください。拭き取りが甘かったり材質によっては白い斑点が出る場合があります。
9. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。
10. 0℃以下での保存及び施工は行わないで下さい。
11. 凍結した材料の使用しないで下さい。

7. 関連法則	
危険物表示	該当無し
溶剤区分	無機溶剤
有害物質表示	該当無し

8. 使用上の注意[警告]

特別危険性はなく施工上の注意を厳守。

9. F☆☆☆☆について

「フォスター」の表示は、塗料や内装材、建材で、「ホルムアルデヒドの放散量の性能区分を示す為」に新たに表示する義務が定められたものです。F☆☆☆☆(Fフォスター)は、JIS工場で生産されるJIS製品に表示することが義務づけられているホルムアルデヒド等級を示すマークです。
ハイドロプルーフは塗料ではなく、水性無機化合物の劣化保護及び防水剤です。有害化学物質に指定されたシロアリ駆除剤のクロルピリホス及び、シックハウス症候群に関するホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの1+5種類を有害規制薬物に指定。従って有機化合物であるホルムアルデヒドは含まれていないため F☆☆☆☆に該当しません。

10. VOCについて

VOCとは、Volatile Organic Compounds の略で揮発性有機化合物のことをいいます。WHOでは大気中に気体で存在する有機化合物のうち、沸点が50℃～260℃の物質の総称と定義されています。
上記有機溶剤に関しては非該当です。